



春空と 桜花に勝る 笑顔映え ひとを想いて 時を楽しむ

それいゆ 広報

Vol.130

医療法人同仁会

- 介護老人保健施設 それいゆ
TEL0577-35-3030
- 桐生クリニック
TEL0577-35-3880 FAX (共通) 0577-35-3063
- 折茂医院
TEL0577-34-5025
- それいゆ訪問看護ステーション
TEL0577-37-5260
- ヘルパーステーション それいゆ
TEL0577-37-3360
- 病児保育室プティそれいゆ
TEL0577-35-2525
- ケアプランセンター それいゆ
TEL0577-35-3770
- ショートステイ それいゆ
TEL0577-35-0710
- シャロン・ド・それいゆ
TEL0577-34-5026
- Dr. Orishige ビオメゾン
TEL0577-37-0800
- デイサービスセンター れざみ
TEL0577-37-5666
- りあん・ど・それいゆ
TEL0577-32-8166



新年度を迎えて

介護老人保健施設それいゆ

事務長 一戸康弘

ご利用者様ご家族様、各関係機関並びに事業者の皆様には、当法人の事業運営に對しましてご理解とご協力、ご指導を賜り誠にありがとうございます。新型コロナウイルス感染症対策は二年目に入りましたが、第四波の影響もあつて未だ収束せず非常事態宣言並びにまん延防止等重点措置の期間延長が決定しました。また、高齢者を対象としたワクチン接種がようやく始まり、諸対策の効果が得られればこれまでの自粛一辺倒から基本的な感染対策を維持しながらも少しずつ規制緩和されていくのではないかと考えられます。今は何としても『感染しない、感染者を出さない』を念頭に日常の感染対策は怠りの無いよう一人一人が自覚をもってお互いを守り合い、日常を取り戻すよう努めて参る所存です。

さて、今春介護報酬改定が施行されました。国の方針として五つの柱が提示され、当法人もその方針に則り以下のとおり取り組んで参ります。

【感染症や災害への対応力強化】

新型コロナウイルス等の感染症や地震・風水害等の災害が発生した場合でも、皆様に必要なサービスが安定的・継続的に提供される体制を構築します。BCP（業務継続計画）策定に着手します。

【地域包括ケアシステムの推進】

住み慣れた地域において、皆様の尊厳を保持

しつつ必要なサービスが切れ目なく提供されるよう法人一丸となって取り組みます。当法人の強みである医療と介護・福祉の連携、「医・食・住」を備えた複合施設の充実等ご満足いただける安心空間の維持向上に努めます。

【自立支援・重度化防止の取組の推進】

介護計画から実施までリハビリ、口腔、栄養専門職の関りを明確にし体制の強化と連携サービスの質並びにマネジメント力の向上に努めます。

科学的介護の取組推進のためデータ提供とフィードバック、情報の効果的活用を進めます。介護老人保健施設においては、在宅復帰支援の取組強化を図り強化型老健へグレードアップを目指します。

【介護人材の確保・介護現場の革新】

資格取得のための就労支援と評価、介護ロボット導入による見守り支援、ICT導入による会議や研修の効率化に係る支援等、介護職員の処遇改善や職場環境の改善に向けた取組を推進します。

【制度の安定性・持続可能性の確保】

必要なサービスは確保しつつ、プラン評価を見直し適正化・重点化を図ります。

以上となりますが、皆様のご理解とご協力があることで、至らぬこと等ございましたら些細な事でもお知らせいただき、ご指導賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

各委員会の年間目標

レクリエーション委員会

『レク内容を共有しあってレクリエーションの時間が楽しめる』

昨年度は「利用者一人一人が楽しめるレクリエーション作り」を念頭に、新しい試みとして作業療法士のレクリエーションを加え個々で作る作品作りが行えた。反面、新型コロナウイルス対策のため慰問や法話、押し花教室や習字教室といった外部講師によるレクリエーションを一時休止せざるを得ない状況が続きました。また、感染対策からレク内容に制約もありマンネリ化の感が否めない状況でした。

コロナ禍二年目、課題に向き合い今年度の目標を標記のようになてました。各部署で計画していたレク情報を共有し活用し合うことでレクの向上に繋げるとともに、新型コロナウイルス対策の一環で開催を休止している書道教室などを職員によるレクの中で取り入れたり、室内で季節を感じられる掲示物を作



たり、みなさんに楽しんでもらえる時間を増やせるように協力していきたい。

食事委員会

『多職種同士が連携して、利用者様一人一人の適切な食事提供に努める』

昨年度は「利用者様の状態をよく観察し、安全な食事の提供を行う」という目標で一年間活動しました。利用者様一人一人の状態をよく観察し、その都度状態に合わせた食事形態や量の変更ができたと思います。また、言語聴覚士による



る摂食嚥下評価を随時実施したことで、スタッフが利用者様の嚥下状態を正しく理解でき、誤嚥のリスクが軽減できたのではないかと思います。

令和三年度介護報酬の改定に伴い、これまで以上に多職種同士がスムーズに連携して利用者様の变化に気づき、食形態・食の嗜好・介助方法など様々な観点から適切に対応することが求められていると思います。利用者様にとって安全かつ少しでも食事を楽しみの一つに感じて頂けるよう取り組んでいきたいと思っています。

ケアプラン委員会

『ケアプランについて理解できる』

令和三年度介護保険の改定に合わせ、ケアプランに位置づけを行い理解する。(排泄支援マネジメ

ント・褥瘡ケアマネジメン
ト・科学的介護情報システム(LEIF)運用の対応について
・記録のタ
ブレット
端末入力
移行への
対応・カ
ルテの見
直し・マニュアルに関する確認。



教育委員会

『教える側が責任を持って、向上できるよう支援する』

・一人ひとりが出来る事を伸ばしていけるような、声かけ・指導を行う。
・個々のスキルを上げ、施設全体のレベルアップに繋げる。

入浴・環境・排泄委員会

『入浴部門』

『利用者一人一人にあった介助を行い、誰もが気持ち良い入浴を整える』

利用者によって介助方法は異なります。利用者の方が気持ちよかったと満足してもらえようような介助をスタッフ全員で取り組めるようにしていきたい。

《環境部門》

『感染予防に努める』

「コロナにて感染予防に努めていますが、より良い感染予防に努めて過ごしやすい環境づくりを行ってきたい。」

《排泄部門》

『個々にあった排泄ケアを行う』

排泄ケアを行うことにより尿路感染等の感染を抑え、排泄トラブルが起らないようにするにはどうしたらよいかを発信していきたい。

学習療法委員会

『認めて褒める』表情やしぐさを大切に笑顔を引きだす』

- ・利用者様の様子を細かく観察しながら些細な事でも記録に残す。
- ・学習中の笑顔をひきだすために、余裕を持ち、褒め上手になるように努める。

認知症専門部会

『その方の思いを尊重した対応に努める』

施設生活の中で、利用者一人一人が主役であることは介助側としては人手も時間も足りない。一人の思いがわがままと捉えないよう、本人の思いを尊重し少しでも受け止めた対応を努めていきたい。

事故防止対策委員会

『正確な記録とケアプラン及び状態の把握』

昨年度の目標は、「記録に残す（コロナ対策で家人との話す機会が減るため）。防ぐべき過失のある事故を防ぐために互いに助け合う。」でした。以前と比較して本力ケアへの記録は増え、意識されてきたと思われます。防げない事故もあるという事を共有し、家族との関係性も大事にしながら対応する認識へと変わることができたと思われまます。記録においては、介護ソフトウェアでの入力となりますが、

現状では入力することに意識が向いており、システム上にある利用者の情報を見る・知るという意識が薄れているように感じます。正確な記録をすることを継続したうえで、プランや状態などを把握することを今年度の課題とします。

防災委員会

『災害への地域と連携した対応の強化』

近年、大規模災害が発生する中で災害への対応強化が求められている。地域との連携はもとより災害時の事業継続計画の策定を推進していく。

口腔ケア部会

『口腔ケアの必要性、効果を学び日々のケアにあたる』

- ・自主学習による専門知識習得を促すため、四月に開催した口腔ケア勉強会のレポート課題を全スタッフを対象に繰り返し実施する。時期は五月末、八月末、十一月末、二月末とする。レポート課題回収後は口腔ケア部会でコメントして本人へ返却する。
- ・口腔ケアのアセスメントシートを必ずカンファレンス時に提示、評価する。

安全衛生委員会

『無事故無災害の継続と意識付け』

労働災害や健康被害を生じさせないよう、年間管理計画を策定し周知推進する。

『心の健康づくりの理解と推進』

従業員の心の健康は、従業員とその家庭の幸福な生活、活気のある職場のために重要な課題であることを認識し、メンタルヘルス不調への対応だけでなく、職場のコミュニケーションの活性化など心の健康づくりに取り組む。

リスクマネジメント委員会

《事故対策・感染対策・拘束廃止・虐待防止・褥瘡予防》

『直面する課題、想定される課題の分析・評価・対策・実行を周知し遂行する』

各部門関連性がありあらゆる側面から一元的に評価対応等統括管理する。

部門毎に指針の策定並びに見直しを行い周知徹底する。

看護介護部年間目標

《二階》

『正しい介護技術を身につけ、的確な介護記録が行える』

《三階》

『気付きの視点を広げ、スムーズに連携が図れる介護支援の提供』

《四階》

『ゆとりを持ち、利用者様に寄り添った看護・介護を提供する』

事務部年間目標

『接遇・目配り・気配りを心掛け、一つ一つ丁寧に確実な業務を行う』

・感染対策に気を付け、窓際対策を徹底する。

・介護報酬の改定によるレポート請求をミスなく行う。

・席を外す仕事、受付対応、電話応対、PC業務など、声を掛け合って席を交代し、働きやすい環境を作り合う。

・私語を慎む。

・忙しい中での優先順位を考えて業務を行う。

通所リハビリテーション

介護長 白川 浩代

平素より、通所リハビリの運営にご理解いただきありがとうございます。

近年の電子化の波に乗り、当事業所でも準備を進めてまいりました。ご利用者様に直接関係する部分ですと、今年度より連絡帳を一日一枚の様式にし、食事メニュー、レクリエーションの内容、昼食の摂取量、職員からの一言、そしてお一人お一人のその日の様子を記入させていただくことで、以前よりもご利用者様を観察するようになりました。そして何より、ご家族様に「それいゆに行っているのを見てくれるのか解って良い」「帰ってきてから、今日の様子を聞くのに役立つ」「などのお声をいただきました。本当に嬉しいです。今まで、口頭ではお伝えするようにはしていましたが、足りなかったと反省もしました。ご家族様からも記入していただくスペースを設けていますので、ご自宅の様子もよくわかり、リハビリ課などの多職種で情報の共有をさせて頂き、より良いサービスに繋がっております。また、サービス担当者会議の際には、体重の推移や血圧の状態などをグラフ化した用紙をご本人様やケアマネージャー様にお渡しすることも可能となりました。気を付けて頂きたい点などをわかりやすく説明できますし、受診の際などに役立てていただけたらと思います。

今後も「こんなことをして欲しい」などありましたらぜひご相談ください。



ケアプランセンターそれいゆ

管理者 寺田 歩美

新年度の改定では、公正・中立なケアマネジメントの確保を図る一環として新たな義務が課せられました。過去六カ月間に作成したケアプランについて、ヘルパー・デイサービス・福祉用具の三サービスの

- 【各サービスの割合】
- 【同一事業所によって提供されたものの割合】

これらの説明を提供開始に際し、あらかじめ説明を行うというものです。あらかじめとあるので初回のみとなりますが、以前から契約を結んでいる利用者様については次回ケアプラン見直し時に説明を行い、文書を交付し、必ず署名を頂く事となっております。

これは、利用者様に自由に事業所を選んで頂く事を目的としており、それいゆのケアマネだからといって、それいゆのサービスしか使えない、という事は無いという事です。

御本人に合ったサービスを利用し、穏やかに過ごせるお手伝いが出来るよう支援させて頂きます。ご希望があれば、別の施設への紹介や別の事業所への変更手配も、もちろんさせて頂いております。気になる事があればご相談下さい。



それいゆ訪問看護ステーション

看護師 渡邊 みのり

コロナ禍の中、スタッフ一同無事に新年度を迎えることができるのも、皆様のご協力あつてのことと思います。いつもご利用ありがとうございます。

今、より良い世界を目指すためにSDGs（持続可能な開発目標）という国際的な目標が掲げられており、テレビでもよく耳にします。私は以前テレビ番組で観た、「つくる責任、つかう責任」というSDGsについての内容が気になり、「使う責任」ということを考えて物を大切にする」ということを目標にしています。

私たち訪問看護師にとって持続可能な開発目標は何だろう、と考えたとき、「看護を提供するうえで、必要なこと・不必要なことを見極める」とことだと思いました。一人一人の利用者様にとって、これは本当に必要なサービスなのか、利用者様のできることまでやってしまい自立を妨げていないか、体型に合わないおむつを使用し排泄面に不備が生じていないか、飲めていない薬が沢山余っていないか、など見極めることが大事です。当たり前かもしれませんが、こういう考えを持ち続けることで無駄遣いなサービスが減り、より良い看護の提供につながると思います。

SDGsは二〇三〇年までの国際目標です。これから日々、自分にも何かできることはないか考えながら過ごしていきたいです。

今年度も、それいゆ訪問看護ステーションをよろしく願っています。

ヘルパーステーションそれいゆ

管理者 大洞里 奈

日頃はヘルパーステーションそれいゆをご利用いただき誠にありがとうございます。

利用者様、ご家族様、事業所様に対し、スタッフ一同心より御礼申し上げます。

ヘルパーステーションそれいゆでは、現在正職三名登録ヘルパー一名と、少ない人数での業務となっております。利用者様、ご家族様へ、時間の変更や曜日の変更をお願いすること



も多く、大変申し訳なくこの場をお借りし深くお詫び申し上げます。そしてこんな中でも「いいよ大丈夫。」と快く承諾してくださる皆様へ、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます。今後

も時間の変更等をお願いすることがあると思いますが、何卒ご理解の程よろしくお願い申し上げます。

また、感染症予防を継続し、「うつらない・うつさない・拡めない」を職員一同心にど

め、感謝の気持ちを忘れず、今後も笑顔で訪問させていただきたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。

また、感染症予防を継続し、「うつらない・うつさない・拡めない」を職員一同心にど



ショートステイそれいゆ

看護師 向川原 由美

日頃はショートステイそれいゆをご利用いただきありがとうございます。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に取り組み、二年目となりました。最近では変異株が主流となっており、中々気が抜けない状況が続いています。

私たちショートステイそれいゆでは、「感染をしない、させない」ために、手洗い・換気・体調管理を徹底して行っています。また、ご利用者様、ご家族様に長期にわたるご不便をおかけしています。少しでも不安が解消されますよう、体調変化や日頃の様子などを電話や文書でお伝えしています。日頃からの感染対策へのご協力をいただき、感謝申し上げます。

ショートステイそれいゆでは、五月より毎日のカルテへの介護・看護の記録、管理を、今後の電子化に伴い、タブレット端末を使用し業務にあたっています。タブレット入

力に慣れていないスタッフが多く、日々悪戦苦闘していますが、タブレットを使いこなすことで、利用者様の情報共有が今まで以上にスムーズになり、より細やかな対応ができると思います。

安心してご利用していただけるようスタッフ一同笑顔・笑顔で対応させていただきます。



スタッフ手作りのお誕生日プレゼントを差し上げました

病児保育室プティそれいゆ

管理者 白田 陽子

昨年度、病児保育室では感染症対策マニュアルを改定し、従来よりさらに衛生管理を徹底し、新型コロナウイルスの施設内感染を阻止すべく努めてまいりました。まだまだ未知の部分が多いウイルスではあります。ワクチン接種も始まり、人類がその脅威を克服する日も近いのかもしれませんが。病児保育室では日々その時点で最善とされる策を講じながら、今年度も引き続き安全な運営に努めてまいります。

子どもたちはコロナ禍の様々な制約の中におかれ、でも、そこで学び、遊び、成長しようとしています。日々成長の一過程にあり、それはたとえ病気の時であっても同じです。私たちは子どもたちが信頼感と安心感に包まれながら、心の充足感をもって療養できるよう、心を尽くして接しています。そして私たちは「子育てを孤育てにしない」「子育て家族の「拠り所」でありたいと思っています。困った時はみんなで子育て！プティそれいゆはいつでも大きな手を広げて皆さんをお迎えしています。



看護師 中谷 美穂

この度5月よりプティそれいゆに務めています。

保護者の皆さまに寄り添える支援を求め、自己研鑽に努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

シャロン・ド・それいゆ

管理者 牧田 功

新型コロナウイルスの感染症予防にご協力を頂き厚く御礼申し上げます。今後も変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。小規模多機能型居宅介護のサービス提供にあたり、介護度に関係なく多様性のあるサービスの提供と、ご利用者さまのニーズ、必要な対応やサービスが的確に提供できるように、職員一同常に心がけております。御気づきの点や御希望等がありましたら、いつでもご連絡下さい。

『シャロン・ド・それいゆの取り組み』

・季節感の維持

狭い庭ですがプランターを利用し利用者様と職員で野菜や花を育てております。収穫の楽しみや花をめぐることで季節感を感じていただきたいと思います。

・コミュニケーションを図る。

コロナの感染予防も含め、高齢者の利用者様が閉じこもることなく、みんなで交流することでストレスの解消や社会性の維持ができるように努めております。車いすの利用者様も一緒に過ごすレクリエーション

(お誕生日会、お雛祭り、お彼岸のおはぎ等)の実施ができるように努めてまいります。

・健康のために衛生管理、体調の確認、必要時の受診対応に努めております。

シャロン・ド・それいゆは自立した方からベツト上での生活の方、看取りまで対応しております。シャロン・ド・それいゆでは、見学・相談を随時受け付けております。



りあん・ど・それいゆ

管理者 阿 礼 由美香



新型コロナウイルスが猛威を振るい、飛騨地域でも生活が変容し、今まであたりまでできていたことができなくなり、翻弄される毎日を過ごしておられるのではないのでしょうか。そんな中ではあります、感染予防対策にご協力いただきながら、皆さんで元気に過ごしています。

私事で恐縮ですが、医療法人同仁会へ入社し今年で二十年を迎えることができました。入社した時は、長女が生後二か月でしたので、家族やほふく室に子供を預け、休憩時間に職員の皆さんがおられる中、我慢できず搾乳していたなと懐かしく思います。三年後次女も授かり、毎日があつという間に過ぎていった二十年でした。人事異動でうまくいかず泣いたこともあり、最愛の父や祖母を亡くし悲しいこともありましたが、たくさんの人と出逢い、支えていただき、価値観や考え方が広がりました。たくさんありました。これからも父の残してくれた言葉「無理をしないと頑張るのは違うでな」を頭に置き、無理せず皆さんの力を借りながら、笑顔で頑張ります。

りあんの語源でもある『絆』を大事に日々感謝の気持ちを持たず、利用者様・ご家族との信頼関係の構築・利用者様が安心・安全に過ごしていただける環境を整え、皆様に納得のいくサービスの提供ができるよう日々精進して参ります。



Dr. Orihime Biozon

3リーダーズ（澤浦恒子・砂田孝子・杉山智実）

バイオゾンでは、3名のリーダーが、個々の力を組み合わせてより効果的な指導を実践できるようスリーリーダー制を組成いたしました。

各リーダーの抱負と新年度の取り組み

澤浦リーダー

今までにない試みに最初は戸惑いもありましたが、其々の役割を確立しつつ日々過ぎました。利用者様にとってより良い生活空間を提供できるように三者三様の言葉通り、一人では思い浮かばない考え方や方法でスタッフが日々成長し、チームとしての介護の仕事に携われる事を考えています。「専門職である前に一人の人間であれ」全ての介護職に求められるものであって実践しなければならぬ課題です。私たちリーダーが正しい職業観をもって誠実なふるまいと自発的行動の為に陶冶する必要があります。まずはリーダー自身が、「自分の身に省みて考える」リーダーとしての自覚を三者三様、利用者様の幸せを実感できる施設になるよう取り組んでまいります。

砂田リーダー

例年より早い梅雨入りとなった今年は、昨年に引き続き新型コロナウイルスが猛威を振る中、変異株の影響などもあり各地で緊急事態宣言が出され、不安な毎日を過ごされていると思います。さて、バイオゾンでは、重症化しやすい高齢者の方が入居されていることから、フロア内の消毒は勿論、各個人の手洗い・アルコール消毒を徹底し、スタッフには自覚のある行動を取るよう再周知を図り、感染予防に日々取り組んでおります。終

息が見えない中、入居されている皆様が穏やかに過ごしていただける様、スタッフ一丸となり頑張っていきたいと思っております。

杉山リーダー

日頃はバイオゾンをご利用いただき誠にありがとうございます。利用者様の生活の質を低下させないために、介助の工夫を行い、一人ひとりの対応力、コミュニケーション能力、観察力、判断能力を日々高めていけるよう努力します。おもてなしの心を大切に、利用者様が安心・安全に過ごしていただけるようスタッフ一同努めてまいります。



デイサービスセンターれざみ

生活相談員 坂本 麻祐子

平素よりデイサービスセンターれざみをご利用頂きましてありがとうございます。

また、本年度の介護保険の改正や新型コロナウイルスの感染予防対策にご理解、ご協力を頂き

ありがとうございます。

コロナ禍で利用者様の暮らしぶりも変わり、遠方の家族等親しい方々との交流も減ってしまい閉じこもりがち



なっています。そんな中でもデイへ来ていただくことが大切な外出や交流の機会となるよう感染対策を行いながらサービス提供しています。対策の一環として、机の対面をやめ一方方向を向いて座ることや、隣席の方との間隔をとることでソーシャルディスタンスを保っている反面、利用者様同士の交流ができにくくなっていますが、楽しみながら一日を過ごして頂けるように職員が細かな声掛けをすることや、職員間で知恵を出し合いレクリエーション等の活動にも工夫を凝らしています。また、外出の機会がないのでデイの中で季節を感じて頂けるよう作品作りなどに反映しています。

ワクチン接種も始まり生活も少しずつ良い方向に変わっていくことが期待されますが、今後も感染対策を行い利用者様、家族

様が安心してご利用頂けるよう努めて参ります。



新入社員紹介

四月一日採用

理学療法士 岩長昇吾（写真右）
医療と在宅復帰の橋渡しとなる中間施設としての役割を念頭に、利用者様に親身になって寄り添い、リハビリ計画の際は利用者様・ご家族様の要求や在宅生活環境などを考慮し取り組みたいです。そして、常に元気な挨拶から親しみやすい雰囲気をつくります。

理学療法士 蒲 千景（写真中）
利用者様ひとりひとりの「あれがでさるようになりたい」といった思いに寄り添い、その手助けになるようなりハビリを心掛けていきたいです。そして、その思いが叶った時に一緒に喜べるような理学療法士になりたいです。

作業療法士 岡田結奈（写真左）
利用者様の想いを大切にしながら一人一人の生活やお身体に合わせたリハビリを提供し、多くの笑顔になっただけで頑張ります。



同仁会の元気な仲間 大募集！

①管理栄養士または栄養士（老健施設）

②看護師・准看護師（老健施設・デイサービス・訪看）

③介護職（老健施設・小規模・訪問介護）

④理学療法士（訪看）

⑤保育士（パート・登録）

⑥用務員（パート）

■資格／18歳以上（介護職は資格取得見込も可）

■時間／シフト制（応相談）

■給与／当法人の規定による

■休日／1ヵ月単位の変形労働時間制、年間休日105日

■社会保険完備、各種手当有り、福利厚生有り

- 子育て中でも職場のスタッフがフォローしますので仕事しやすい環境です
- 産休・育休等、安心の福利厚生
- Dr.が24時間対応だから夜勤も安心です
- パート希望の方はご相談下さい
- 20～70才代まで幅広い年代が在職し家族のような雰囲気です



編集後記

日差しがあつた
いう間に夏めいて
きました。穏やか
な初夏の陽気を感じ
ると何となく気持
ちもほっとしま

す。昨年からの引き続き、世の中はコロナ感染予防対策でひしめいています。活動量や身体代謝量も多い子供達のマスク生活、行事の制限延長で、能力の伸びる時期の影響が懸念されます。早く伸び伸びと才能が発揮出来る世の中にしたいのですが、大人の努めではないでしょうか。この度、【飛騨高山フューチャープロジェクト】の《地域お仕事発見隊》の参加企業として小学生・中学生の児童・生徒さんを入れて、お仕事体験をしていただくことになりました。子育て真っ最中のスタッフが知恵を絞ってフクフク・ドキドキ☆ときめく体験メニューを提供します！奥の深い介護の入門編のチャレンジや、お待ちしています。医療法人同仁会の若いチャレンジャーの入社式です。

